

2015年9月19日（土曜） 秋の大雪山2日目・銀泉台～赤岳（2078m）

～ Report by 石井 ～ （ photo by 参加者のみなさん ）

今日は、日本で一番早い紅葉が見られるという「銀泉台～赤岳」のコースを歩くプランとなった。銀泉台（1480m）は、層雲峡にある有名な「銀河の滝」の水源があるところから名付けられた。紅葉のこの時期は、多くの登山者や観光客で賑わうらしい。山へのアクセスはマイカー規制があり、レイクサイト（ダム湖の大雪湖畔に駐車場がある）からシャトルバスを乗り継いで、銀泉台・赤岳登山口へ向かうことになっている。参加者は、能勢さん・吉松さん・高橋（雄）さん・根岸さん・小野寺さん・中島さん・石井のクマさん会、若手精鋭？の7名である。



朝の天候は「曇り」気温15℃、この時期としてはかなり暖かい、山の天気はめまぐるしく変わるので対応が難しい
この日は天候不良の予想で、21日に予定していた「富良野」方面の観光を前倒して楽しむ予定になっていた
それもあって、朝から根岸さんと私は、宿泊先の「リゾートペンション山の上」付近をのんびりとお散歩をしておりました
（後姿は根岸さん）



明日予定されている「黒岳～旭岳縦走」の出発点になる、黒岳ロープウェイの層雲峡駅

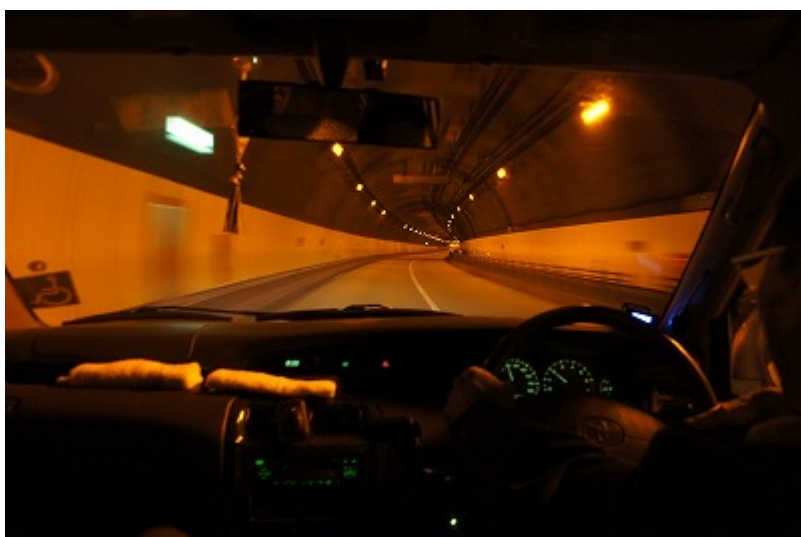
中央奥の駅舎からケーブルが右上方へ伸びているのが見える



ペンションに戻ると、天候が持ち直しそうだということで、急遽、予定を再変更し銀泉台へ向かうことになった

出発は9:00

弁当も予約していなかったなので、各自近くのコンビニで調達することになる
急ぎ朝食を平らげ、準備に入る



9:00にお迎え予定の車が

8:00には来てしまい（来てくれて）
急遽、これまた出発時刻も早まった

変更による時間の遅れを取り戻せるので
ありがたい
層雲峡直下の長いトンネルを走る



8:40

レイクサイトのバス乗り場到着
9:00発の銀泉台行きに間に合った

まずは全員でパシャリ
天候のせいか人影はまばらだった



結構年季の入ったバスである
なにやら中島さんが指差している
何故か窓枠がガムテープでしっかり
目張りをされているのだ

隙間風でも防いでいるのだろうか？
帰りに確認したら
走行中の砂埃がひどいので
その対策であるとのこと
南アルプス林道バスを思い出した



9:30
ああだ・こうだと言っている内に到着

「森林パトロール銀泉台事務所」に
入山届を出す



能勢さんが、ルート案内版の前で
予定コースの説明をしている



ここで、恒例の出発前の記念撮影

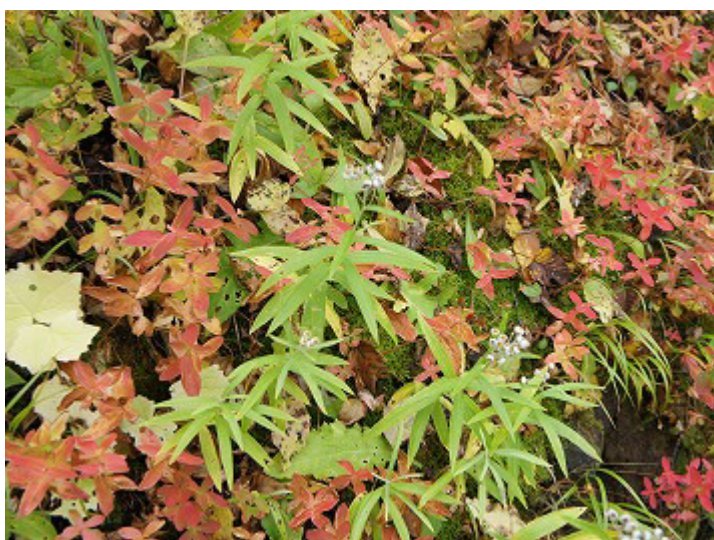
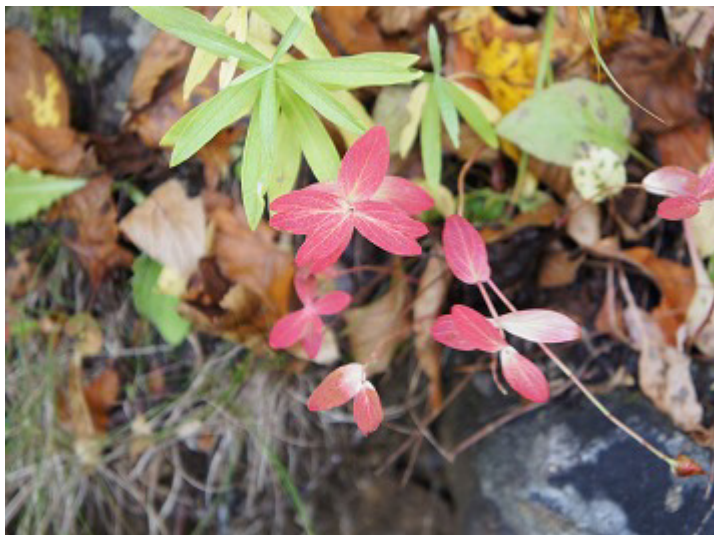


9:40
「それでは行きます！」
ということで出発となった

後方はバスに乗り合わせた人達だ
昼前には観光バスツアーの客も
入って来ていた



スタートからすこぶる快調の能勢さん
この後、思わぬアクシデントに
見舞われるのだが・・・



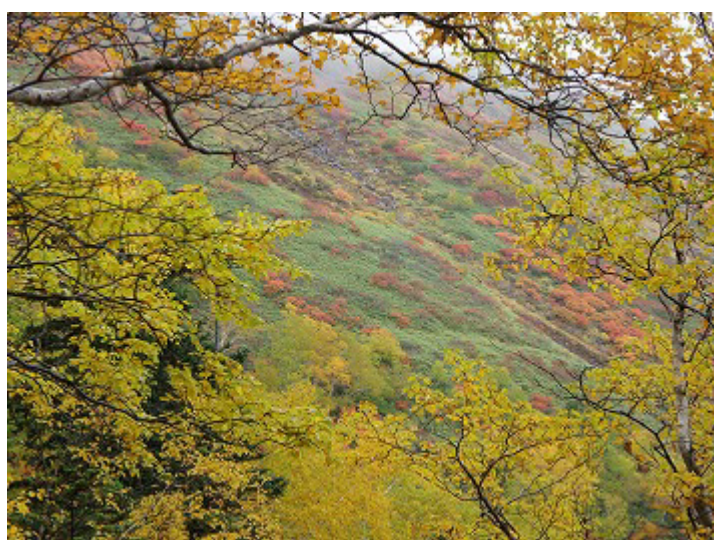
登山道の周りは秋の気配満載だった
キノコと草紅葉が同居し
これから一挙に冬へと向かうのだろう



登山道を登り始めると
そこは「秋」の始まりだった



10:00
ふと見ると・・・能勢さんの姿がない！
本人曰く
朝のヨーグルトと牛乳2杯が効いたのか？
登山口まで一直線となっておられました
納豆を混ぜなかったのが失敗か？
(能勢家ではヨーグルト納豆が定番らしい)





10:15

話のネタにしていると

あっという間に、能勢さん復活！

まだ歩き始めて、よかった・良かった

身軽？な能勢さんはすごく早かった

「ヒグマ」のご飯になってはたまりません



10:25

「第一花園」にさしかかる

昨日歩いた大雪高原では、「第一花畑」

「第二花畑」の呼称が付いていて

紛らわしくないようになっていた



春から夏にかけては多くの高山植物が

競い合うように咲くのだろうが

この辺りでは草紅葉にコントラストがあり

まるで花たちの代わりを務めているようだ



進んでいくと、当初の天気予報通り？
雨と風が出てきたが、そう強くはない

更に行くと、本日のお薦めポイントに到着



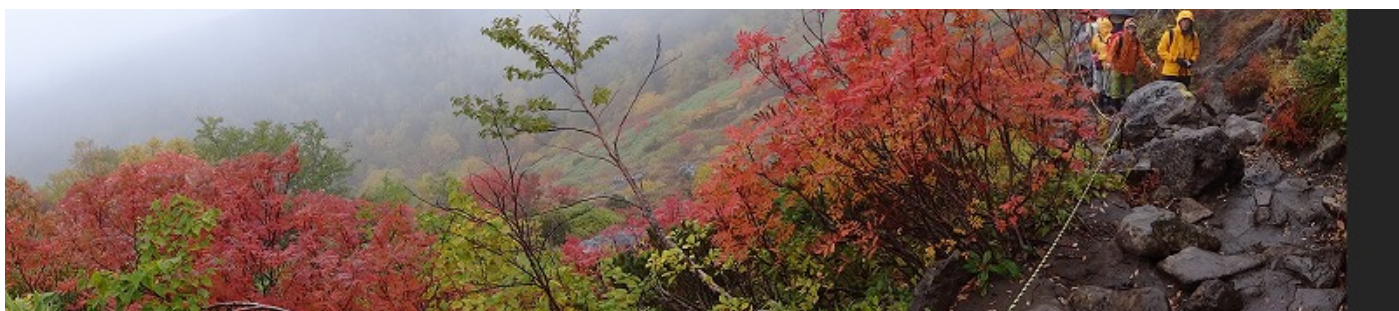
かなり上気したような葉っぱに
雨粒が点々として
秋色が深まっておりました

「秋雨もこうしたことならよしとしよう」



なんだか素敵な光景でした
でも、これからが本番だったのです

まるで屏風に描かれたような秋を楽しむことができました



静かにシャッターを切っておりました

「パシャ」・「ぱしゃ」

「かしゃ〜カシャカシャ〜かしゃかしゃ〜」
パノラマモードの連写音です



ひとしきり撮り終えて、先へと思った途端
雄さんがどんどんと行ってしまいました
この後、雄さんの身に・・・

ピークを越えたところで撮った下の写真に
雄さんの姿はありません



追いつくと、雄さんはこの辺りでザックを
降ろし、何やら懸命に探している様子でした
濡れては可哀想と、その上から小野寺さんが
傘を差し掛けたのです（雄さま雨が）その時
は意味不明で証拠写真はなし、残念！

後で伺うと、何やら「ヒグマ」の気配を感じ
咄嗟に「熊鈴」を付けようとしたとのこと
結局、その気配の主は、降りて来つつある
「猛者？のおばさん」だったようですが
大雪山という場所柄、笑えません



10:45

「第二花園」到着

先を見ると岩ゴロゴロ、風雨もあるので
「潔くここで終了しよう」という事になり
クマさん会旗を出して記念撮影・・・
・・・となったはずだったのですが
早朝に出て下って来たおじさんに
シャッターを押して貰ったのが「縁？」で
(次に続く)



「この先、赤岳までは無理でも
第三雪渓～第四雪渓までは行けそうだから
かなりの景色が見られるはず」と
囁かれてしまったのです

ここで終了と決めた、下山先行GP
(雄さん・根岸さん・小野寺さん)と別れ
魅入られてしまった登山続行GP
(能勢さん・吉松さん・中島さん・石井)は
「軽量化?して元気な能勢さん」を先頭に
進み始めました



11:00

「奥の平」に入ると

なだらかな丘陵には、鮮やかに染められた
絨毯が敷き詰められておりました

この先もっと期待が持てそうな気配



下山して来た、森林パトロールらしき人から
どこまで行くのですか？と問われ

「行けるところまでは」と答えたその矢先
外国人夫妻がガシガシと登って行ったのです

どうも、もう止まらなくなりそうです
上は一体どうなっているのだから



11:10

「コマクサ平」到着

結局、そう上手く事は運ばず

峠のようなこの辺りは吹きさらし状態

風雨も強まって来たので

今度こそ、ここまでと決めて記念撮影

我々も下山開始となりました



コマクサ平は、初夏ともなれば

駒草の群生地なのでしょうが

この辺りの草木は油絵のようで

かなりの出来映えでした





山を降りながら
景色をめでつつ飽きもせず
ゆったりとしておりました

戻る時間に余裕があると
登りには目に入らなかったものがあり
面白かった



それにしても
いろいろな「色」があるものです

昨日の大雪山高原の沼巡りもそうですが
銀泉台には、また独特の風があり
大雪山系が持つそれぞれの秋を感じた
1日になりました



11:40

下山先行GP、登山口到着

11:50

登山続行GP、第一花園通過

12:20頃、登山口到着予定

*約40分のタイム差がある

先発GPは早目に宿へ向かっているだろう



12:20

銀泉台のレイクサイト行きのバス

後発下山GPはランチタイム

車内がガスっているのではなくて

レンズが曇ってしまっているのです



12:50

レイクサイト到着

なんと、先行GPが待っていてくれた
・・・のではなく、下山時刻が早すぎ
帰りのバスがまだなかったのです

*13:35まで

層雲峡行きはありませんでした



食後のおやつを戴く面々

雄さんが「いいことがありましたよ」と
つぶやいたので、何が？と聞いたのですが
内緒らしい・・・がここで実現
バスの運行スタッフが
コーヒーを差し入れてくれたのです

念のため：珈琲売りのお姉さんはおりません



コーヒーを差し入れてくれたのは、道北バス株式会社 旭川営業所の熊谷所長さんでした。

この河川敷の臨時駐車場には待合室がなく、次の層雲峡行きのバスを待つのにお客様を肌寒い小雨の中で立たせて置くわけにはいかないと、増発待機用の車両を待合室代わりに開放し、さらに全員に熱いコーヒーを所長自らサービスしてくれたのでした。

文字通り身も心も温まる心遣いに、一同感激。ありがとうございました。



14:00帰着、まずはお酒の買い出し
昨夜試しに買ってイケた、セイコーマートの
ワインを買い込む。カベルネ・メルロー
シャルドネ・スパークリング
計¥2300だ！
銘はG7、偶然の語呂合わせだ

宿に戻り、今日の始末と明日の準備をして
お風呂に入ったら、早速、飲み会だ
ワインの向こうに飲んべえの顔が見える





宿の配慮で、2日目の夜はイタリアンレストランでディナーになった

お風呂もレストランも、その他いろいろも一つの建物の中にあり（北海道特有のオールインワン）雨の日も濡れずに移動が出来て便利が良い

その他の施設（コンビニ・お土産屋などなど）も歩いて数分の距離にあり、このロケーションは今回の旅のベストチョイスだと思った



食事はビールを飲みながら
わいわいがやがや
銀泉台の紅葉と本日の出来事の話で
盛り上がった





締めくくりに、宿のご主人と記念撮影
 「釣りと昆虫」のプロフェッショナルだと
 パンフレットにあった
 昨夜供された「アメマス」も釣果とのこと
 ＊アメマスは降海型、蝦夷イワナは陸封型

なんだ・かんだとあった2日目の夜も更けて
 明日はいよいよ縦走だ！！